

# ほやほや

Fukui Red Cross Hospital

福井赤十字病院広報誌

vol.030



## 改正臓器移植法施行前に、 臓器移植シミュレーションを行いました

臓器移植法の一部が改正され、脳死状態からの臓器提供の要件が緩和された改正臓器移植法が7月に全面施行されるのを前に、臓器提供までの手順を確認するシミュレーションが開催されました。

医師、看護師などの職員が30名ほど参加し、ドナー発生から、院内関係者の連絡体制、臓器移植の患者さんの家族への説明から、脳死判定、臓器抽出、臓器搬出の過程など、臓器移植の場面で想定される注意点を確認しました。

脳死判定の場面では、3人の脳死判定医がダミー人形を使用して、瞳孔が開いたままになっているか、自発呼吸の確認などの脳死判定の確認作業をきめ細かく行いました。平成22年7月17日からは、ご本人の臓器提供の意思が不明な場合も、ご家族の承諾があれば臓器提供できるようになります。これにより、15歳未満の方からの脳死下での臓器提供も可能になります。

## 福井赤十字病院

### 理念

人道・博愛の精神のもとに、具民の求める優れた医療を提供します。

### 基本方針

- 患者様の権利と尊厳を尊重し、相互理解に基づく医療を行います。
- 患者様に優しい医療を提供します。
- 医療の安全と質の向上に努めます。
- 地域の保健・福祉・医療機関と連携を進めます。
- 救急医療を充実させ、地域の急性期医療を担います。
- 災害時に積極的な医療救護や救護活動を行います。





# 手のひらの汗の 異常について 治療法

特別な理由もなしに、手のひらに異常な汗をかくことはありませんか？  
手掌多汗症(しゅしょうたかかんしょう)といわれるこの症状は、  
明確な原因は不明ですが、いくつかの治療法があります

まずは皮膚科への受診と相談から。そして本格的治療へ

人間は誰でも体や心の状態によって手に汗をかくものですが、特に理由も無いのに、手のひらの汗が異常にかく方がときどきおられます。このような状態を、**手掌多汗症**と言います。かかっている頻度は意外と高く、100人〜200人に1人くらい居ると言われています。

十分な場合には、手術療法(胸腔鏡下胸部交感神経遮断術)が行われています。また近年、手掌多汗症の手術は健康保険の適用になりました。

代償性発汗と呼ばれるものは、これは背中、お腹、太もも、お尻などで起きることが多いですが、頭、顔などでも起こりえます。

汗の量はさまざまで、普段からよく汗ばんでいる、といった軽いものから、手のひらを上に向けていると数分間で水たまりができたり、手のひらから汗がしたたり落ちるほどの重度な症状が出る方もいます。はつきりとした原因は不明ですが、交感神経という神経の活動との関連が推測されています。

手術では、全身麻酔をかけたうえで胸に小さな穴を2〜3個開け、直径5mmほどのカメラを用いて、胸の中にある交感神経幹と呼ばれる神経のうち、手のひら付近の汗を出される部分を切ってしまうというものです。比較的手術時間も短く体にも与えるダメージも少ない手術で、入院期間も3日間程度の短期間で済むことが多いです。

手の汗が異常に多く手掌多汗症が疑われる場合には、まず皮膚科などを受診して相談されるのが良いでしょう。診断の結果、手掌多汗症であれば薬物治療などをまずは試して、それで効果が不十分な場合は、手術を考えてみるのも良いでしょう。

治療としては、皮膚科などでの薬物治療(外用治療)、心身療法、民間療法などが中心ですが、そういった治療で効果が不

ただし、手の汗だけがピタリと止まり、それ以外は何もかも以前のままとする訳にはなかなかいきません。手の汗が止まる代わりに、他の部分の汗が異常に増えることがあります。手術の副作用として最も一般的な、

診断・治療をうけた皮膚科の医師と相談したうえで、当院の呼吸器外科を受診していただければ手術についてくわしく説明いたします。

(福井赤十字病院 呼吸器外科)

## 当院は助産師の専門性を生かし、子育て中のお母さんを支援しています

4月1日より、「母乳外来」を開設しました。これまでは、病棟業務と並行して行っていた母乳相談を外来で独立して行うことにより、担当助産師がきめ細やかに対応できるようになりました。

また外来で行うことで、他院で出産されたお母さん方にも気軽にご利用してもらいやすくなりました。

出産された場所を問わず、子育てで困っていらっしゃるお母さん方への支援を行っていくことが、地域の基幹病院としての役割です。

当院の母乳外来では、必要に応じて医師と連携をとりつつ、基本的に初診から全て助産師が対応しています。平成21年1月に開設された助産師外来に続き、妊娠、出産、産後と、助産師

によるお母さんへの継続した支援を、助産師の専門性を発揮しながら行っています。

「おっぱいが足りているかどうかかわからない、おっぱいを上手く飲ませられない、おっぱいが張って痛い」などの不安や心配、疑問など、どんな些細なことでも構いませんので、お気軽にご利用ください。また、乳腺炎などのトラブル時には24時間対応しています。

お母さん方が、楽しく安心して母乳育児ができるように支援させていただきます。ただきますので、当院で出産された方のみならず、他院で出産された方も是非お気軽にお越しください。

基本的に予約制となっておりますので、あらかじめご連絡ください。



福井新聞社提供

予約はこちらまで!

産婦人科 2-4病棟  
内線 2491・2493

医療安全への取り組み

No.6

医療安全推進活動

## 『転倒・転落を防止する為に』

### こんなことに気をつけて!

- ズボンのすそ丈はかかとの上になるよう、サイズの合った衣服を着用してください
- サイズの合った履き慣れた滑りにくい履物を使用してください
- 遠慮なく手すりを使用してください
- 立ち上がるときはゆっくり体を起こしてください
- 以前に転倒・転落を起こされたことがある方はその状況を申し出てください



病院の環境は、住み慣れた家庭とは異なります。生活環境の変化に病気やケガによる体力・運動機能低下が加わり、思いもかけない転倒・転落事故が起こることがあります。私達は、入院生活を安全により快適に過ごしていただけるよう日々努力していますが、患者様及びご家族の方にもご協力をぜひお願いいたします。

患者様が入院してこられたら、転倒・転落の危険性が無いかを患者様・ご家族と一緒に考えます。その結果危険性があると判断された患者様には、みんなで注意ができるよう「注意見守りカード」をベッドサイドに掲示しています。当院ではこのように転倒・転落防止のためにさまざまな取り組みを行っています。

「注意見守りカード」掲示して、転倒・転落防止に努めています

## もつとクロス！

# 赤十字フェスティバルを開催しました

5月7日(金)、8日(土)、赤十字のことももつと知ってもらうために、「結びつきな地域とともに」を合言葉に、福井県支部、赤十字病院、血液センターの3施設合同で「もつとクロス！赤十字フェスティバル」を開催しました。

当日は骨密度や体脂肪率、血管老化度の測定コーナーには長蛇の列ができ、測定結果をもとに看護師や管理栄養士が健康相談に応じていました。また、いざという時のための救急法、AED使用方法を学ぶことができ、参加者は熱心に講師の指導を受けて

いました。

さらに8日には、赤十字の事業の柱である献血のことももつと知ってもらうための市民公開講座や、病院駐車場の特設ステージで様々なイベントを展開。今年の特設ステージの発表では司会を病院の職員がとめ、ステージ発表も地域の方々だけではなく、病院の職員も参加して、より地域と密着した特設ステージとなりました。

今後とも、地域の皆さまとのきずなを大切に、地域に根付いた赤十字病院となるように日々努力してまいります。



職員によるダンスをはじめ、子どもたちの歌やお遊戯、マーチングバンドなどが、フェスティバルを盛り上げました



心と体を癒すやさしいハーブとフルートの音色に、多くの方が聞き入っていました



病院内はもちろん、国内外で行われている様々な赤十字活動をパネルで紹介しました



市民公開講座のテーマは「血液のはなし」。生命を救う献血の使われ方についても紹介されました



測定コーナーでは骨密度や体脂肪などが測られました。相談コーナーでは、日頃、気になっている健康に関する質問へのアドバイスを行いました



平成21年度

# 外来待ち時間調査の結果

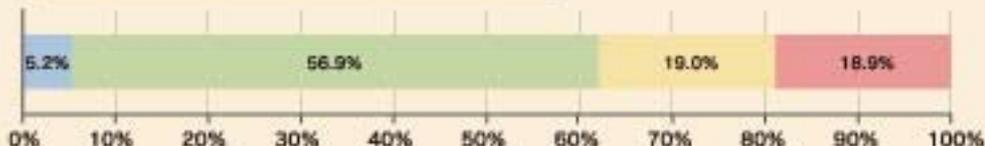
1月27日から28日にかけて、初診・再診の患者様に診察までの待ち時間および待ち時間に対する心理的負担を調査いたしました。当院では今回の調査結果をもとに、4月より医師、看護師、薬剤師等の各職種からなる「待ち時間対策チーム」を設置し、患者様待ち時間の短縮、心理的負担の軽減に努めて参ります。

調査へのご協力、誠にありがとうございました。

調査期間／平成22年1月27日(水)、28(木)の2日間 回答数／625件

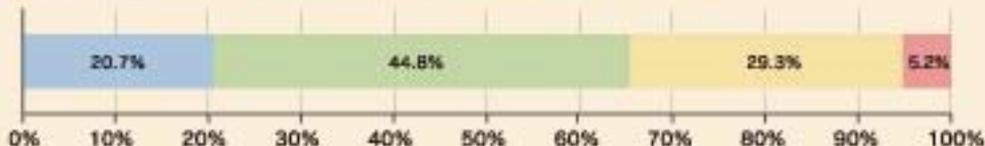
初診の患者様

## 1-1 受付から診察までの待ち時間について



- 待ち時間なし
- 30分以内
- 1時間以内
- 2時間以内

## 1-2 受付から診察までの待ち時間についての心理的負担

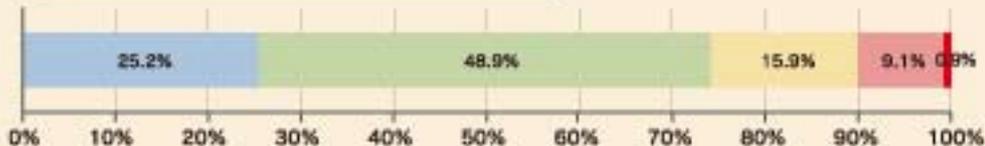


- まったく負担でない
- あまり負担でない
- やや負担
- 非常に負担

初診の患者様の61%が、30分以内の待ち時間でした。  
65%の患者様が、待ち時間に対して、「まったく負担でない」または「あまり負担でない」と感じておられます。

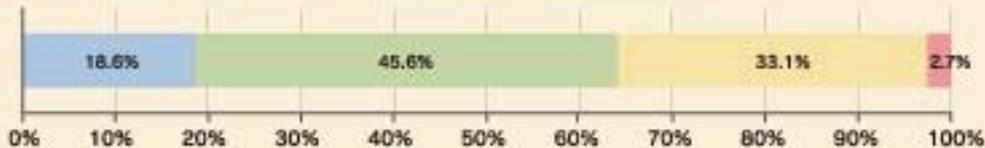
再診の患者様

## 2-1 受付から診察までの待ち時間について



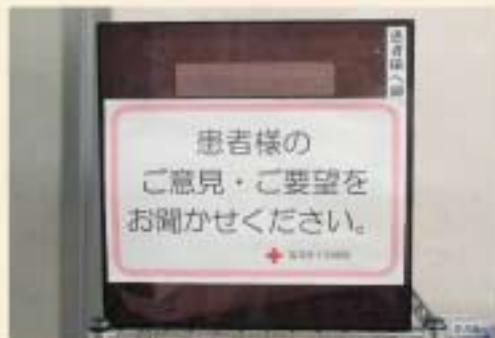
- 待ち時間なし
- 30分以内
- 1時間以内
- 2時間以内
- 2時間以上

## 2-2 受付から診察までの待ち時間についての心理的負担



- まったく負担でない
- あまり負担でない
- やや負担
- 非常に負担

再診の患者様の74%が、30分以内の待ち時間でした。  
64%の患者様が、待ち時間に対して、「まったく負担でない」または「あまり負担でない」と感じておられます。



ご意見・ご要望が有りましたらぜひお寄せ下さい。ご意見箱は総合案内内と各病棟にございます。  
いただきましたご意見は、今後の患者サービスの向上に役立させていただきます。



# Topics



## 赤十字の駅が誕生 シャトルバスも運行開始!

福井新駅が新しく「赤十字前駅」に名称変更に伴う記念イベントが、3月25日開催されました。

イベントでは、同駅正面にある昭和幼稚園の園児たちが、ハイチ地震やチリ地震の被災者救援のために、募金箱を持って元気よく駅利用者らに呼びかけを行い、駅構内では大型スクリーンで赤十字活動のDVDを映し出し、利用者らが熱心に見入っていました。

またこの日は午前10時に記念列車が到着し、当院の看護師から運転士に花束が贈られました。

4月1日からは、「赤十字前駅」から当院までを結ぶ、シャトルバス(所要時間4分ほど)が運行を開始し、電車利用がますます便利になりました。



シャトルバスも運行中です

栄養課  
おすすめ!

## 春のレシピ (アスパラガスとベーコンのグラタン)

①アスパラ・ブロッコリーは一口サイズに切って下茹でする。玉ねぎは薄切り、ベーコンは1cm幅の細切りにする。②マカロニをゆがく。少し固めにゆがくとオープンでの加熱で程よい固さになります。③フライパンにサラダ油をしき、玉ねぎをしんなりするまで炒める。このとき、ベーコンもざっと炒めておく。④鍋にマーガリンを溶かし、小麦粉を加えよく混ぜる。牛乳を3~4回に分けて加え、なめらかになるまで混ぜ、マカロニを加え、塩コショウで味を調える。⑤耐熱容器に③④を入れ、盛り付けるようにアスパラ、ブロッコリーを並べる。⑥チーズを一口大の大きさにちぎってのせる。200℃のオーブンで表面に焼き色が付くまで15分ほど焼く。

アスパラガスはビタミンA、C、E、ポリフェノール類、ムチンを出産の多い野菜です。これらは抗酸化作用や血管を強くする働きがあり、アンチエイジングや血管の老化防止に役立ちます。

アスパラガスの苦味成分はアスパラギン酸というアミノ酸の一種で、ヒトの体の中では新陳代謝を高め、疲労回復を促す効果があります。

おいしいアスパラガスを選ぶコツは、穂先がしっかりと詰まっていずみずしいもの、葉の濃いものを選ぶことです。行事ごとが多く、気候の変化で傷れやすいこの時期にぴったりの野菜ですね。



材料(2人分)ノ  
アスパラガス2本、ブロッコリー14房、マカロニ40g、ベーコン20g、玉ねぎ1/4個、サラダ油大さじ1、マーガリン大さじ2、小麦粉大さじ2、牛乳250ml、塩・コショウ、お好みでスライスチーズ2枚

### ●1人分

エネルギー……387kcal  
たんぱく質……15.7g  
脂質……21.8g  
ビタミンA……130μgRE  
ビタミンC……69mg  
ビタミンE……4.3mg  
カルシウム……272mg  
鉄……1.1mg  
塩分……1.4g

## 脳卒中ケアユニット入院医療管理料の認定を受けました

5月1日より、1-5病棟内にある脳卒中センターが、近畿厚生局より脳卒中ケアユニット入院医療管理料の認定を受けました。

当院では、脳卒中診療全体を完結する脳卒中センターに6床の病床を設けており、24時間脳卒中医が常勤し、脳神経外科医・神経内科医と協力して脳疾患の発症直後から専門的治療と体の機能を失わないように早期から積極的にリハビリテーションを行っています。



## 福井赤十字病院

〒918-8501  
福井県福井市日見2丁目4番1号  
TEL.0776-36-3630(代)  
FAX.0776-36-4133  
E-mail  
webmaster@fukui-med.jrc.or.jp  
http://www.fukui-med.jrc.or.jp/  
広報に関するご意見、ご感想をお待ちしています。

# ほやほや

“ほやほや”と納得できる情報。できたて“ほやほや”の情報をみなさまに提供していく季刊発行の院内情報誌です。院内の広報委員のスタッフ皆で毎号その季節に合った特集を組み、お役に立てる情報を掲載すべく病院各部門のスタッフそれぞれから原稿を集め誌面を制作しています。